

学校給食の放射性物質を毎日提供前に測定しています。

市では、学校給食が安全な食材で作られていることを再度確認し、安心して子どもたちに給食を食べてもらうようにするため、食品内放射能測定器を各学校給食センター及び各単独給食実施校に設置し、給食一食全体及び食材ごとの放射性物質のスクリーニング測定（学校給食まるごと検査）を毎日、給食提供前に実施しております。

測定機器：ベラルーシ ATOMTEX 社製 NaI(Tl)シンチレーション検出器

測定場所：福島市学校給食センター（4施設）

単独給食実施校（25校）

測定方法：当日、給食で使用する食材（主食・牛乳・副食用食材）を2～3人分採取します。

ミキサーにかけて試料をつくり、測定容器につめて測定します。

※産地の限定はありません。使用量の少ない調味料は除きます。

測定項目：放射性セシウム134・137

検出下限値：放射性セシウム134・137それぞれ10ベクレル/kg

（検出下限値未満は「検出せず」と表示します）

測定頻度：各学校給食センター、単独給食実施校ともに原則毎日。

測定時間：900秒

測定結果：福島市のホームページで、測定した試料の結果をご覧いただけます。



納入業者は市場等から安全性の確認された食材を調達しています。

食材は、使用する当日の朝に納品されます。



各給食施設において、給食一食全体及び食材ごとの放射性物質のスクリーニング測定を毎日、給食提供前に実施し、検出下限値未満であることを確認したうえで提供します。